

平成29年度 建設部 方針書

建設部長 渡部 幸伸

1. 部の使命（役割）

「安全で快適な住みよいまちづくり」

暮らしを支える社会基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

2. 平成29年度における課題（前年度の振り返りから）

- 人口減少・高齢化社会におけるまちづくりの方向性と雪対策
- 生活インフラ老朽化への対応

3. 平成29年度の『スローガン』

チーム力で 次世代に繋ぐ まちづくりを！

4. 年度目標となる方針（目標）

- (1) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化
- (2) 20年後を見据えたまちづくり(都市計画)方針の検討と既存事業の推進
- (3) 住生活対策の促進

5. 重点取組項目

(1)	項目	道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化
	取組内容	◇生活インフラ整備加速化事業による舗装補修等の加速化 ◇橋りょう長寿命化、橋りょう点検業務の着実な推進 ◇維持管理体制機能強化の検討
(2)	項目	20年後を見据えたまちづくり(都市計画)方針の検討と既存事業の推進
	取組内容	◇次期都市計画マスタープラン策定に向けた調査・検討、関係機関等の協議 ◇仮称横手北スマートIC整備促進による高速交通網の充実 ◇増田地区街なみ環境事業等による地域資源を活かしたまちづくりの推進
(3)	項目	住生活対策の促進
	取組内容	◇総合雪対策基本計画アクションプランの推進と次期計画の策定 ◇雪国よこて安全安心住宅普及促進事業の継続実施による住宅の雪対策への助成 ◇住生活基本計画の策定

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

(1) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化

- ・生活道路等における舗装補修等の地域要望について、地域局対応分も含め着実に実施している
- ・橋りょうの長寿命化のため、橋りょう点検290橋、補修設計5橋並びに補修工事を3橋実施中である
- ・現在の維持管理体制について、地域局を含め意見交換をしている

(2) 20年後を見据えたまちづくり(都市計画)方針の検討と既存事業の推進

- ・現行のマスタープランの振り返りと計画策定に向け関係各課による庁内会議を開催した
- ・横手北SIC本線工事に着手したほか周辺道路改良、交差点改良工事の発注により事業進捗が図られた
- ・増田地区街なみ環境整備事業において、無電柱化に向けた共同溝の工事に着手した

(3) 住生活対策の促進

- ・今冬の雪対策のため、各地域局ごとに雪対策連絡会議を開催し意見交換を実施した
- ・雪国よこて安全安心住宅の助成件数は、9月末現在119件である。また、屋根雪対策のリーフレットを作成中
- ・計画の策定に向け、学識経験者等による委員会の開催や市民アンケートの集約・分析を完了した

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

7月22日の記録的な豪雨による道路・河川・公園等の被害の復旧を最優先とする

(1) 道路・橋りょうの適正な維持管理と長寿命化

- ・発注計画を見直しながら対応する
- ・橋りょう点検結果等を踏まえ、次年度以降の長寿命化に向けた取組みを検討する

(2) 20年後を見据えたまちづくり(都市計画)方針の検討と既存事業の推進

- ・引き続き関係機関との協議や市民アンケートを実施し、まちづくり方針を決定する
- ・関係機関と連絡調整を継続的に行い、予定工期内の完成を図る
- ・地域住民の理解と協力を得ながら事故防止に努め工事を推進する

(3) 住生活対策の促進

- ・引き続き現計画の検証を行い、次期総合雪対策基本計画を策定する
- ・引き続き雪国よこて安全安心住宅普及促進事業の推進を図るとともに、次年度の対応を検討する
- ・委員会の開催、市民からの意見募集等を行いながら、年度内に計画を策定する

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

※7月22～23日の記録的な大雨災害への対応

・国の災害査定が11月中にすべて完了。その後、災害復旧工事の発注に向け準備を進め、3月中に平成29年度予定工事の発注を完了した。今後、早期完成と平成30年度対応分について発注準備に努める。

(1) 道路・橋りょうの適正な維持管理と長寿命化

・大雨災害復旧対応のため、橋りょう補修工事等の発注計画に影響があり一部繰越対応となったが、橋りょう点検や生活道路の舗装補修等については、概ね計画通りに進めることができた。

(2) 20年後を見据えたまちづくり(都市計画)方針の検討と既存事業の推進

・都市計画マスタープランの策定に向け市民アンケートや課題分析などを実施し、新たなまちづくり方針決定作業に着手できた。

・横手北SIC本線工事及び県道交差点工事などに着手、平成31年3月供用開始に向け順調に進捗している。

・増田地区街なみ環境整備事業については、平成30年度無電柱化工事が本格化する。地域住民の理解と協力を得ながら良好な景観形成に努める。

(3) 住生活対策の推進

・計画期間を3年とした、新たな総合雪対策基本計画の策定を終えた。

・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業は、174件の助成を行い安心で快適な住環境整備に貢献している。助成項目の見直しを行いながら次年度以降も継続実施する。

・平成30年3月、住生活基本計画の策定を完了。